

志賀原子力発電所 安全性向上施策の工事計画変更について

2019年10月31日
北陸電力株式会社

当社は、志賀原子力発電所2号機の安全性向上施策の工事について、これまでも先行他社の審査状況を踏まえ得られた知見・評価を反映しながら進めてきておりますが、今般、工事全体の工程を改めて評価した結果、工事完了時期の変更が必要と判断しましたのでお知らせします。

当社は、志賀原子力発電所2号機の「安全性向上施策」について、2013年6月より現地工事を開始した以降も新規規制基準や最新の知見を踏まえた安全対策に取り組み、2019年度内の工事完了を目指してまいりました。

具体的には先行他社の審査状況を踏まえ得られた知見・評価を適宜反映しながら、設計や工事を進めてきておりますが、先行他社の審査においては設備強化に係る議論等が継続して行われている状況にあります。

今般、このような状況を踏まえ、安全性向上施策の工事全体の工程を改めて評価した結果、なお2年間の工事期間の延長が必要と判断し、工事完了時期を「2021年度内」に変更することとしました。

なお、2号機の福島第一原子力発電所の事故を受けての安全対策費は、全体規模として1千億円台の後半から変更はないと見込んでいます。

以 上